

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス こんていにゅう		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 10日		～ 2026年 1月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2025年 11月 10日		～ 2025年 12月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの子どもさんの特性に寄り添い、発達段階にあった細やかな支援を実施しています。子ども達が安心できる居場所作りと大人との関係作りを目指しています。保護者様に安心して預けて頂き、子どもたちにとって本人らしく過ごせる環境作りに努めています。	年齢や、発達段階に配慮し、活動内容や支援方法を工夫しています。子どもさんが安心して落ち着いて過ごせるように、視覚的構造化に努めています。	子どもさんたちが、より主体的に活動できるように、教材や活動内容の見直しを継続して行っています。職員研修やケース検討会議で専門性の向上を図ると共に、子どもさんの発達を多面的にとらえた支援が行えるよう振り返りをより充実させ、家庭との連携強化につなげていきたいと考えています。
2	個別支援計画をもとに、日々の支援内容を検討し、子どもさんの成長に応じた支援を行っています。小集団ならではの細やかな支援を行い、五領域に添った支援、育成に取り組んでいます。	個別支援計画をもとに支援を行い、必要に応じて見直しを行っています。支援の資質を維持、向上させるため日々の支援の振り返りやミーティングを行い子どもさんの様子や支援方法を職員間で共有しています。	取り組んでいる支援を維持しながら、支援内容の振り返りや職員研修を更に充実させていきたいと思ひます。保護者様への情報提供をより充実させ、子どもさん一人ひとりにあった支援に繋げていきたいと考えています。
3	保護者様と連絡帳や送迎時の引継ぎ時のやりとり、また電話連絡や面談を通してコミュニケーションを大切にしご家庭と連携した支援を心がけています。職員同士も日々の申し送りや会議を通して情報共有を行い支援の一貫性を大切にしています。職員がチームとなり保護者様と共に子どもたちを見守る体制作りに努めています。	保護者様との日々の情報共有を大切に、連絡帳や送迎時の引継ぎ、電話連絡や面談を通して連携を図っています。職員それぞれの経験やストレンスを活かし、チームで支援内容を検討しています。	事業所内研修や外部研修への参加、また地域のこども部会への参加を通して職員の資質向上に努めています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の経験年数や専門性に差があるため、支援方法の理解や実践にばらつきが生じることがあります。今後は研修やOJTを通じて、支援の質の均一化を図る必要があります。	定期的なミーティングや研修を通じて改善を図り、より質の高い支援につなげていきたいと考えています。	支援方針や基本的な支援方法の共有を進めるとともに、職員間での情報共有や意見交換の機会を設け、学び合いを促進する必要があります。また、研修や日々の振り返りを通して、支援の質を一定に保てるよう取り組んでいく必要があります。
2	学校や関係機関との連携については、必要に応じた個別対応が中心となっており、継続的な情報共有体制が十分とはいえない状況である。	学校や関係機関との連携について、必要に応じて情報共有は行っているものの、定期的に話し合う機会が十分に確保できていない状況があります。また、日々の支援業務の中で時間の調整が難しいこともあり、個別の対応が中心となっています。	今後は、学校や関係機関との情報共有の機会を増やし、支援内容や目標をより分かりやすく共有できる体制を整えていきます。また、職員同士で連携の方法を共有し、事業所全体で取り組みを進めることで、より計画的に支援できるように努めていきます。
3	業務が特定の職員に集中する傾向があり、効率化が課題となっています。業務分担の見直しを行い、働きやすい体制づくりを進めます。	業務が特定の職員に集中しないよう、業務内容や担当の整理・見直しを行い、負担の偏りを把握する工夫が必要であると考えています。あわせて、職員間での情報共有や協力体制を強化し、業務の効率化を図っていく必要があります。	業務が特定の職員に集中しないよう、業務内容や担当の整理・見直しを行い、負担の偏りを把握する工夫が必要であると考えています。あわせて、職員間での情報共有や協力体制を強化し、業務の効率化を図っていく必要があります。